



多摩市初 人間国宝

重要無形文化財「木工芸」保持者

渡辺晃男の仕事

2026 4.23 (木) ~ 29 (水・祝) 10時 ~ 17時 会期中無休

東京都多摩市落合2丁目35番地 パルテノン多摩 市民ギャラリー

【入館料】無料 【主催】多摩市教育委員会 【監修】外館和子 (工芸史家・多摩美術大学教授)

【協力】パルテノン多摩共同事業体 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

渡辺晃男の仕事



渡辺晃男は、1970年に認定された黒田辰秋・氷見晃堂をはじめ、大野昭和斎・中臺瑞真・川北良造・大坂弘道・中川清司・村山明・灰外達夫・須田賢司・宮本貞治に続き、2025年、「木工芸」では12人目の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

渡辺は木工技術の内でも指物技法を基本に、杢目と象嵌が調和した端正で洗練された作品を制作してきました。様々な木材に対する深い理解と高度な技は、現代の暮らしに息づく創造的な木工芸の世界を生み出します。

この展覧会では、東京都多摩市在住者としては初の重要無形文化財保持者・渡辺晃男の木工芸作品のほか、使用する素材や資料などの展示により、その仕事振りや制作の様子を紹介します。豊かな森林資源に恵まれた日本の木工芸作家ならではの世界をご高覧ください。

[本展監修者・外館和子]



撮影・石崎幸治



【渡辺晃男氏プロフィール】

- 1976年 千葉大学木材工芸科卒業 同年 本多廣吉に師事
- 1983年 佐藤豊樵氏に師事
- 1993年 第33回伝統工芸新作展 三越賞
- 2011年 第51回東日本伝統工芸展 日本工芸会東日本支部長賞
- 2013年 第53回東日本伝統工芸展 MOA美術館賞
第14回伝統工芸木竹展 東京都教育委員会賞
- 2014年 第61回日本伝統工芸展 東京都知事賞
- 2018年 第65回日本伝統工芸展 東京都知事賞
- 2019年 紫綬褒章
- 2024年 第44回伝統文化ポーラ賞 優秀賞（木工芸の制作 伝承）
- 2025年 重要無形文化財「木工芸」保持者認定 同年 多摩市栄誉賞

- 表写真 神代櫻華文嵌荘箱「望西」
- ① 黒柿蘇芳染嵌荘箱「西方の風」
- ② 楓有線寄木象嵌小箱「暹」
(参考作品)
- ③ おだ認定こども園 保育家具
- ④ 櫻拭漆飾棚（パネル紹介）



【関連イベント】

渡辺晃男氏 × 外館和子氏 「人間国宝 渡辺晃男の仕事」

渡辺氏と外館氏（工芸史家・多摩美術大学教授）による対談と作品解説を通して
伝統工芸の魅力をご紹介します。

（日時）2026年4月26日（日）13時30分～15時

（会場）パルテノン多摩 市民ギャラリー

（参加費）無料（定員）30人（応募者多数の場合は抽選）

（申込）2026年4月8日（水）までインターネット手続きで事前申込 [ホームページ▷](#)



重要無形文化財保持者認定記念事業

『重要無形文化財「木工芸」保持者 渡辺晃男の仕事』

【開催期間】2026年4月23日（木）～29日（水・祝）10時～17時 会期中無休 【入館料】無料

【主催】多摩市教育委員会 【監修】外館和子（工芸史家・多摩美術大学教授）

【協力】パルテノン多摩共同事業体 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

【会場】パルテノン多摩 市民ギャラリー 東京都多摩市落合2丁目3番地

（京王相模原線、小田急多摩線、多摩モノレール「多摩センター駅」より徒歩5分）※駐車場あり（有料）

【問合せ】多摩市教育委員会 教育振興課 文化財係 TEL.042(338)6883 〒206-0025 東京都多摩市永山1-5 156号線

